

平成 31 年 3 月 26 日
第 33 回通常総会議案資料-1

平成 30 年度事業報告

昨年は台風 21 号により、関空連絡橋の破損による通行止め、北海道東部地震による新千歳空港の機能支障など自然災害の影響を受けたが、海外旅行者数は過去最高の 1895 万人、前年比 5.6% 増となった。また、訪日外国人旅行者数についても、前年比 8.7% 増、3119 万人と過去最高の旅行需要を示した 1 年であった。

世界各国で頻発するテロ・自然災害・感染症への対応等、リスクが多岐に亘る中、パッケージツアー等の参加客の安全対策に取り組み、現場での迅速な判断・行動・関係機関との連携等を行う添乗員への期待度が大きいことから、外務省は「添乗員のための海外安全対策セミナー」を本省の大会議室で開催した。また、2018 年秋から観光庁が着手した海外渡航者の安否確認をタイムリーに把握するシステム構築についても、協議に参加し提言をおこなったところである。

また、昨年は、MICE のみならず募集型企画旅行の催行も増加し、特にピーク時に添乗員不足が顕著となり、会員各社の営業担当者も添乗員に出なければならぬほどの事態を招いた。会員企業は人材育成をしようにも、人材確保が難しく、添乗員派遣を中止する会員企業も出ている。業務継続を困難にしている要因の一つに添乗員の高齢化があげられ、本人の高齢化のみならず、高齢な両親の介護のために長期間家を空けられない環境下、インバウンド業務等への転身希望も出てきている。

こうした状況下、協会では厚労省より「産業別高齢者雇用推進事業」を受託し、委員会を設置し、課題の整理を行い作業部会で具体的に協議し、会員各社へのアンケート方式で添乗員労働条件実態調査を実施した。また、インバウンドスタッフの検定制度については、厚労省からの要請に基づき、秋口に 1-2 級のトライアルを行ない、改善を重ねてきたが、申請手続きには至らなかった。

また、旅程管理研修とともに、収益事業として大きな貢献を続けてきた「派遣元責任者講習」については、指定実施機関が増加し競合している。特に都市部での講習開催回数が増加したこともあり、協会主催研修の受講者が減少してきている中、協会では、他機関での実施の少ないエリアでの追加設定を行うなど工夫を重ねてきたが、11 月以降は減少傾向がつついている。

例年通り、昨年も全国 5 か所で地区連絡会を開催したが、各社から協会名での募集によって人材確保ができないものかという声も上がった。これを受け、協会ホームページのリニューアルにより、サポートができるよう準備を進めているところである。また、会員各社が苦勞している人材確保については、ここ数年継続している取組として、就活中の学生と現役添乗員の交流の場として、「ツアコンカフェ」を開催し、添乗業務のやり甲斐・魅力の PR をおこなっており、今後も、会員各社の一助となるべく、人材確保のサポートを行っていききたい。

I. 組織活動関係

1、総会

定款第 16 条の規定に基づき、平成 30 年 3 月 22 日(木)メルパルク東京において第 32 回通常総会を開催した。

(1) 提出議案

第 1 号議案：平成 29 年度事業報告及び収支決算報告について

第 2 号議案：平成 30 年度事業計画案及び収支予算について

第 3 号議案：役員 1 名の選任について

(2) 出席者数

平成 30 年 3 月 22 日現在、正会員 43 社、うち出席正会員 21 社、委任状提出正会員 22 社、合計 43 社

2、理事会

定款第 35 条の規定に基づく平成 30 年度の理事会は 3 回開催され、各議案について検討審議が行われた。

(1) 第 135 回理事会

日時：平成 30 年 2 月 16 日（金）15 時 00 分～17 時 00 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 第 32 回通常総会提出議案について

2 号議案 規程類の一部改訂について

3 号議案 平成 29 年・30 年度理事候補者について

4 号議案 TCSA 添乗員表彰について

(2) 第 136 回理事会

日時：平成 30 年 4 月 9 日（月）15 時 00 分～17 時 00 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 規程類の一部改訂について

(3) 第 137 回理事会

日時：平成 30 年 9 月 28 日（金）15 時 00 分～17 時 00 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 平成 30 年度添乗員能力資格認定試験の実施及び今後のあり方について

2 号議案 人材募集サイトの開設案について

3 号議案 諸規程類の改訂について

4 号議案 受託事業等の経費執行ルールについて

3、地区協議会

北海道、関東、中部、関西、九州各地区の会員で構成する「地区協議会」を各1回開催した。地区協議会では、会員との話し合いに主力をおき、会員が直面する課題、TCSAへの要望・提案事項等について意見交換を行った。

地区	日	参加会員数	議題
北海道	平成30年5月9日(水)	10社	①平成30年度事業計画について ②受託事業「高齢者雇用推進事業」について ③TCSAに対する要望
関東	平成30年7月26日(木)	20社	
中部	平成30年6月20日(水)	12社	
関西	平成30年5月23日(水)	11社	
九州	平成30年6月6日(水)	13社	

II. 運営幹事会

運営幹事会は、2月、6月、9月、12月年間合計4回開催した。人材育成、コンプライアンス推進、広報イベントの各委員会及び理事会の報告や現在会員会社が最も緊急に解決しなくてはならない課題について議論された。

具体的な内容としては、TCSA 共済会給付内容の見直し、諸規程類の改訂、添乗員能力資格認定試験の今後のあり方、平成31年度事業計画等についての検討を行った。

III. 人材育成委員会

本年度の人材育成委員会は、2月、5月、8月、11月の計4回開催した。例年実施している「ブラッシュアップ研修 (TCSA 主催)」及び「レベルアップ研修 (TCSA・JATA 共催)」の内容の検討、添乗員能力資格認定試験実施方針の検討、旅程管理研修テキスト改正に関する検討等を行った。

1、基礎研修及び旅程管理研修

基礎研修eラーニング受講者数は、個人受講者は計画を上回ったが、正会員受講者は計画通りで、合計で計画比106.3%であった。

旅程管理研修では、国内研修は総計1,031名(計画比:103.6%、前年比:97.5%)、総合研修は総計264名(計画比:97.8%、前年比:91.9%)で国内研修は計画を若干上回ったものの、その他は前年を若干下回る結果となった。東京及び大阪地区は定期開催とし、その他地区については出張講座で実施した。

(1) 基礎研修 (eラーニング)

	平成30年度計画	平成30年度実績	計画比
個人受講者	30名	40名	133.3%
正会員受講者	130名	130名	100.0%
計	160名	170名	106.3%

(2) 国内研修

地区	新規受講			再受講		
	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比
東京	291名	300名	97.0%	6名	5名	120.0%
大阪	115名	130名	88.5%	1名	5名	20.0%
その他	615名	550名	111.8%	3名	5名	60.0%
計	1,021名	980名	104.2%	10名	15名	66.7%
合計	1,031名 (前年比97.5%、計画比103.6%)					

(3) 総合研修

地区	新規受講			国内免除			再受講		
	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比
東京	70名	90名	77.8%	40名	30名	133.3%	0名	5名	—
大阪	33名	50名	66.0%	30名	15名	200.0%	1名	0名	—
その他	39名	20名	195.0%	51名	60名	85.0%	0名	0名	—
計	142名	160名	88.8%	121名	105名	115.2%	1名	5名	20.0%
合計	264名 (前年比91.9%、計画比97.8%)								

2、研鑽研修

(1) レベルアップ研修

JATA との共同開催による旅行会社社員添乗員との合同参加の「添乗業務レベルアップ研修」を本年度も2月及び3月に東京及び大阪で実施した。

テーマについては、TCSA 設定テーマ「自分ブランド力を高めようーまたあなたと会いたいと言われる添乗員になるためにー」、「添乗員のためのお客様の心を動かす話し方」、JATA 設定テーマ「添乗業務の再確認とトラブル対応」で実施した。

地区	実施日	テーマ	受講人数
東京	平成31年2月25日(月)	添乗業務の再確認とトラブル対応	45名
	平成31年2月26日(火)	①自分ブランド力を高めよう ②お客様の心を動かす話し方	118名
大阪	平成31年3月12日(火)	添乗業務の再確認とトラブル対応	18名
	平成31年3月13日(水)	①自分ブランド力を高めよう ②お客様の心を動かす話し方	44名

(2) ブラッシュアップ研修

本年度は名古屋地区協議会からの要望により、地域主導で下記テーマ・講師を選定し実施した。

地区	実施日	テーマ	受講人数
名古屋	平成 31 年 2 月 7 日(木)	「旅程保証・特別補償」について	62 名
	平成 30 年 2 月 20 日(水)	「アンガーマネジメント 怒りのコントロール	88 名
	平成 30 年 2 月 26 日(火)	法」	70 名

3、旅程管理研修の「テキスト」、「修了テスト」の見直し

旅程管理研修科目である「旅行業法令と約款」科目のテキスト及び修了テストは見直しを行い、平成 30 年 8 月に実施する研修より使用した。実務科目に関するテキスト及び修了テストの見直しについては、来年度に改訂作業を行うこととした。

4、添乗員能力資格認定試験の実施

第 23 回となる認定試験を平成 31 年 1 月 29 日に一次試験を実施した。

受験者数は添乗員の評価制度に当試験を導入した TCSA 会員の受験が増え、昨年を大きく上回る結果となった。

受験実績は以下の通り。

- (1) 総受験者数は 324 名で前年比 203.7% (前々年比 496.8%)。
- (2) 前年に引き続き観光庁後援の下実施した。
- (3) 「1 級認定バッジ」は今年の 1 級認定者にも配布した。

5、TCSA 共済会収支報告

会員数は平成 29 年度に比べ 126 名の減であった (2,407 名)。支出は昨年より 70 千円少なく、収支差額は+609,802 円であった。

収支計算書は次ページ参照。

平成30年度 TCSA共済会収支計算書
(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

収 入		支 出	
30年度会費収入	4,676,000	給付金	3,010,000
受取利息(証券利息)	84,933	雑費(振込料)	27,012
小 計	4,760,933	小 計	3,037,012
		人件費	554,439
		通信費(電話代含む)	4,893
		賃借料	103,094
		保守料(ネット関係費)	-
		水光熱費	5,384
		雑費(消耗品)	30,000
		顧問料	324,000
		福利厚生費	92,309
		小 計	1,114,119
収入計	4,760,933	支出計	4,151,131
		収支差額	609,802
前年度繰越	37,107,377	次年度繰越	37,717,179

平成30年度 給付件数・給付額		
給付内容	件数	給付額
パスポート再取得金	3件	¥45,000
香典代	61件	¥610,000
結婚祝金	15件	¥450,000
出産祝金	6件	¥60,000
入院見舞金	35件	¥970,000
海外援助者補助金	0件	¥0
盗難見舞金	4件	¥70,000
災害見舞金	0件	¥0
障害給付金(2級～5級)	1件	¥10,000
死亡弔慰金	3件	¥300,000
香典	3件	¥90,000
能力認定合格祝金	6件	¥22,000
ブラッシュアップ研修受講補助金	4件	¥4,000
リゾート・レクリエーション補助金	14件	¥42,000
退会返戻金	37件	¥337,000
合 計	181件	¥3,010,000

IV. コンプライアンス推進委員会

本年度コンプライアンス推進委員会は、5月、8月、10月、12月の合計4回開催した。

1. 添乗業務における労働時間管理導入状況の把握及び周知徹底

TCSA 会員が添乗員を派遣している主な派遣先旅行会社の導入状況を委員会開催の都度確認し、最新情報の共有を行った。

2. 障害者差別解消法への対応

法施行後の実態把握を行うための事例収集を継続して行った。

3. 添乗派遣に係るコンプライアンスへの対応

9月末に派遣法の「期間制限」が3年を迎えるにあたり、派遣先にも適切な対応が求められることから、TCSA・JATA 共催で各会員会社を対象とした「期間制限対応セミナー」を実施した。

「労働契約法」の無期転換ルール及び「働き方改革関連法」の残業上限問題に関して、より一層理解を深めるべく、厚生労働省のセミナー事業を活用し、札幌・東京・名古屋・大阪・福岡地区において「労働関係法令セミナー」を開催した。

V. 広報イベント委員会

本年度広報イベント委員会は5月、8月、9月、12月の合計4回開催した。

1. TCSA NEWSの発行

平成30年度は前年同様、3回発行した（16ページ参照）。

2. 「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2018」及び「パネルディスカッション」の実施

① ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2018の実施

13～15ページ参照

② パネルディスカッションの実施

平成30年9月21日（金）に東京ビッグサイトで開催した「ツーリズムEXPOジャパン」業界日のステージで行い、旅行会社、添乗員派遣会社、添乗員、業界関係者約100名が参加。

モデレーターとして、(株)JTB 総合研究所 上席研究理事 高松正人氏をお迎えし、パネリストとしてツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2018の受賞者に登壇してもらい、「添乗員が同行するツアーの有用性、危機管理」等をテーマに語ってもらった。

3. ツアコンカフェの開催

昨年に引き続き、添乗業界に興味関心のある大学・専門学校の学生と現役のツアーコンダクターが気軽に話ができる場として「ツアコンカフェ」を開催した。今年は東京で2回、平成30年12月18日と平成31年2月19日にTCSA研修室で開催した。

現役のツアーコンダクターからは自身の体験談や仕事のやりがい等を語ってもらい、学生からは就職に関する相談等、合計約40名の学生が参加した。

また、北海道地区協議会からの要望により、平成30年12月8日に札幌地区でもツアコンカフェを開催した。

4. 添乗員に係る各種表彰制度

特別永年勤続表彰者、永年勤続表彰者の審査を行い、特別永年7名、永年勤続124名を承認し理事会に付議した結果、原案通り承認され3月の通常総会会員懇談会で表彰式を行うことになった。また、各地域の運輸局長表彰を17名が受賞し、大臣表彰には1名の添乗員が受賞した。

VI. 受託事業関係

1. 派遣元責任者講習会

平成30年度は計55回開催した（昨年51回）。開催地区については、従来地区の受講者が減少していることから、従来の東京・札幌・大阪・福岡に加え、受講が見込める横浜・広島を追加して実施した。

受講者数は前年を下回り、合計では1,791名で前年比84.3%、計画比では91.2%であった。

【平成30年派遣元責任者講習開催地区】

札幌・東京・横浜・大阪・広島・福岡

【平成30年度受講実績】

H30 受講人数	前年度 受講人数	H30 計画人数	前年比	計画比
1,791名	2,125名	1,964名	84.3%	91.2%

・28年度 受講人数 1,841名 講習会事業収入 16,252千円

・29年度 受講人数 2,125名 講習会事業収入 18,773千円

・30年度 受講人数 1,791名 講習会事業収入 15,786千円

2. 優良派遣事業者認定制度における「審査機関」としての対応

国が一定の基準を満たした派遣事業者を「優良派遣事業者」として認定する制度として、TCSAは申請のあった事業者を審査する「認定審査機関」として審査業務を昨年に引き続き受託した。今年度は12社の申請があり、9社の認定を行った。

3. 高齢者雇用推進事業

添乗員の高齢化が進む中、今後より一層シニア添乗員を戦力として活用していくことが必要とことから、「高齢・障害・求職者雇用支援機構」の受託事業である「高齢者雇用推進事業」を受託し、シニア添乗員の職域の拡大を目的としたガイドライン作りに取り組むこととした。本事業は2年間（2018年4月20日～2020年3月15日）の事業で、「推進委員会」を設置して、今年度、1年目の事業に取り組んだ。実施した主な内容及び推進委員会メンバーは以下の通り。

【1年目事業】

- ①推進委員会の設置
- ②シニア添乗員ヒアリング調査
- ③企業アンケートの実施（TCSA正会員会社対象）
- ④添乗員アンケート調査（TCSA正会員所属添乗員対象）
- ⑤作業部会の設置（職業能力検討部会）

※2年目については、1年目の調査結果等を踏まえ、ガイドライン作成に着手する。

【推進委員会】

	氏名	会社名（所属先）	役職
座長	御子柴清志	桜美林大学 名誉教授	
委員	横山 弘	㈱J&Jヒューマンソリューションズ	代表取締役社長
委員	松本達也	㈱フォーラムジャパン	代表取締役社長
委員	石井光彦	㈱旅行綜研	代表取締役社長
委員	和田修寛	㈱ツーリストエキスパーツ	代表取締役社長
委員	三橋 弘	㈱TEI	代表取締役社長

Ⅶ. ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2018

今回で13回目を迎えた「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2018」表彰を「ツーリズムEXPOジャパン」のBステージで以下の通り実施した。

1 主催：“ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー” 実行委員会

後援：国土交通省・観光庁・(一社)日本旅行業協会・(一社)全国旅行業協会・(公社)日本観光振興協会・(一社)日本海外ツアーオペレーター協会・(一社)日本添乗サービス協会

協賛：サンコー㈱・DFSグループリミテッド

協力：㈱トラベルジャーナル・㈱観光経済新聞社

2 選考委員会：

選考委員会	氏名	役職
委員長	吉村 作治	早稲田大学名誉教授・エジプト考古学者
委員	永井 一浩	観光庁 参事官
委員	南 砂	読売新聞社 常務取締役
委員	田川 博己	㈱JTB 代表取締役会長・JATA 会長
委員	菊間 潤吾	㈱ワールド航空サービス 代表取締役会長・JATA 副会長
委員	坂巻 伸昭	東武トップツアーズ㈱代表取締役社長・JATA 副会長
委員	清水 誠	中村学園大学短期大学部 名誉教授
委員	山田 隆英	(一社)日本添乗サービス協会 顧問

3 選考経緯：

- (1) 2018年4月に正会員会社41社及び賛助会員旅行会社13社に候補者の推薦を依頼、5月下旬に応募受付〆切、会員会社7社から11名が推薦された。
- (2) 実行委員会における事前の絞込みは割愛し、候補者全員を最終選考委員会に提出することとした。
- (3) 当該11名分の推薦書類関係資料等を送付の上、全選考委員に書面審査を依頼
- (4) 7月9日に吉村委員長をはじめ委員6名出席のもと、最終選考委員会を開催した。選考委員一人あたりの持ち点を決めて、表彰事由、功績、人物像、添乗評価など総合的に協議し、合計獲得点数の上位から受賞者を選考した。

4 受賞者：

賞	受賞者氏名	所属会社	受賞理由
グランプリ 国土交通大臣賞	村尾 まき子	(株)J&J ヒューマンソリューションズ	海外添乗約 2,000 日のベテラン添乗員。過去に長野県内の観光案内所所長を 10 年間務めた経歴を持つ。英語・フランス語・イタリア語を駆使し、富裕層をターゲットとした高額商品を中心に添乗。アンケート評価も常にトップクラス。旅程管理・ホスピタリティ・語学等もお客様の期待を上回るレベルであることに加え、「食」に対する知識も豊富で、2017 年にこれまで蓄積した経験や知識を活かして社会貢献をしたいと考え「フードツーリズムマイスター」を取得。その知識を添乗でも十分に力を発揮し、食通のお客様にも大変喜ばれている。また、日本フードツーリズム協会の研修講師として、豊富な添乗経験と美食家をもうならせる「博学多識」を活かした講義は絶大な人気を誇っている。所属会社内においても「食」「文化」「建築」「美術」等のテーマ別の講師も精力的にこなし、添乗業務のみならず後進の育成、職業の魅力付けに大きく貢献した。
準グランプリ 観光庁長官賞	根岸 有希子	(株)トップスタッフ	昨年 9 月、アメリカ添乗（学生ツアー）の最終日、オランダで超大型ハリケーン「イルマ」に遭遇。帰国便は欠航、強風と豪雨によりホテル 1 階は浸水、2 日間は外出禁止で避難生活を強いられた。参加学生はホテルに缶詰め状態の中、添乗員は日々航空便予約に尽力し、何とか 6 日遅れで帰国。現地では学生が恐怖や不安で精神的に追い詰められる中、添乗員は学生の健康状態やメンタル面でのケアを行った。参加学生が観光学部専攻ということもあり、機転を利かせて「添乗員の業務紹介とケーススタディ」と題した特別講義を行い、精神的な不安を和らげ、貴重な勉強の機会を得たと評価を受けた。ハリケーン襲来における対応以外にも代替手配の航空便への学生の乗り遅れやロストバゲッジへの対応等予期せぬトラブルが重なる中、添乗員の持ち前の明るさと仕事に対する熱意、今までの経験、お客様に対するホスピタリティによってツアーを成功に導くことができた。
委員長賞	藤城 美幸	(株)J&J ヒューマンソリューションズ	総添乗日数 4,500 日のベテラン添乗員で、派遣先旅行会社からも「優秀添乗員」として表彰された。長年の添乗経験を活かして、昨年、地方自治体が実施する市民大学の講座「海外旅行が 10 倍楽しくなる！世界魅力発見旅行」の講師として計 8 回講義を行い、毎回定員を超える申し込みがあり、他の講座よりも非常に好評を得、主催箇所及び受講生から非常に感銘を受けたとお礼の手紙も届くほどであった。海外旅行の魅力を語り、潜在ニーズを掘り起こすと共にツアーコンダクターの職業としての魅力付け、社会的地位の向上に大きく寄与。長年にわたり所属会社海外新人研修の講師を務め、後輩添乗員のパイプ的存在の添乗員として活躍。
会長賞	佐々木 笑	(株)ジャッツ	スペイン語圏を中心に海外添乗を行うスペシャリストとして活躍する添乗員。昨年 9 月メキシコ 8 日間のツアー中、メキシコシティの南を震源とする M7.1 の大地震に遭った。メキシコシティに移動中のバス車中で自身のパソコンで地震を知り、得意のスペイン語を駆使して最新情報を収集し、お客様に伝えた。現地オペレーターやホテルとは連絡が取れず、夕食のレストランとも連絡が取れず、走行途中のガソリンスタンドでパンと飲み物を購入。ホテルは建物の一部が崩壊されていたこともあり、宿泊を断念し、系列のホテルに変更したが、添乗員は部屋が確保できず、30 分離れたホテルに宿泊することとなった。その間ガイドはおらず添乗員一人で対応。一部観光できなかったが、予定通り全員無事に帰国。現地対応や日本への報告などでほとんど寝る時間も取れなかったが、その行動力・語学力等によりツアーを無事に終え、お客様や旅行会社からも大変感謝された。

優秀賞 3 名：栗屋潤氏（(株)ジャッツ）、丹羽悦子氏（(株)トップスタッフ）、齋藤文江氏（(株)J&J ヒューマンソリューションズ）

奨励賞 4 名：遠藤建一氏（(株)旅行綜研）、佐藤ありか氏（(株)読売旅行）、工藤俊雄氏（ANA セールス(株)）、中田啓司氏（(株)エイチ・アイ・エス）

5 表彰式：

平成 30 年 9 月 20 日に、東京ビッグサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン」の B ステージにおいて、受賞者 4 名に対する表彰式が挙行され、それぞれ表彰状及び副賞が授与された。

VIII. 総務関係

1、会員関係

(1) 正会員：正会員数は、平成 30 年度会費納入正会員は 43 社であった。

※年度内に入会 1 社、脱会 6 社があり、平成 30 年末時点では 38 社

(2) 準会員：準会員数は、平成 30 年 12 月 31 日現在 3 名であった。

※年度内に脱会 1 名があり、平成 30 年末時点では 2 名

(3) 賛助会員：賛助会員数は、平成 30 年 12 月 31 日現在 33 社であった。

※年度内に入会 2 社、脱会 1 社があり、平成 30 年末時点では 34 社

2、人事関係

(1) 役員

平成 30 年度は協会役員の改選期ではないが、新たに㈱J&Jヒューマンソリューションズの横山社長が理事として選任され、以下の体制となった。

会 長	三橋 滋子 (㈱TEI 代表取締役会長・ANTA 理事)
副会長	吉岡 敬泰 (㈱ツーリストエキスパート 代表取締役社長)
理 事	本保 芳明 (観光庁参与 国連世界観光機関駐日事務所代表)
理 事	古木康太郎 (㈱グローバルユースビューロー 会長)
理 事	座間 久徳 (㈱JTB グローバルマーケティング&トラベル 代表取締役社長)
理 事	有野 一馬 ((一社) 全国旅行業協会 専務理事)
理 事	大畑 貴彦 ((一社) 日本海外ツアーオペレーター協会 会長)
理 事	竹内 一修 (㈱エコーラインターナショナル 代表取締役社長)
理 事	黒田 満之 (㈱ジャッツ 代表取締役社長)
理 事	石井 光彦 (㈱旅行綜研 代表取締役社長)
理 事	伊藤 浩 (㈱トップ・スタッフ 代表取締役社長)
理 事	高橋 直也 (㈱阪急トラベルサポート 取締役)
理 事	横山 弘 (㈱J&Jヒューマンソリューションズ 代表取締役社長)
監 事	前沢 永壽 (マエサワ税理士法人 理事長 税理士)
監 事	藤渕 平和 (㈱エスティーエス 代表取締役社長)

(2) 委員会委員長

平成30年度の委員会委員長は、前年同様、次の通りである。

*運営幹事会

委員長 三橋 滋子 (一社)日本添乗サービス協会会長

*人材育成委員会

委員長 榎 光義 (株)TEI 第一事業部長

*コンプライアンス推進委員会

委員長 杉村 和夫 (株)ツーリストエキスパート 管理部副部長

*広報イベント委員会

委員長 忽那 裕 (株)エスティーエス 取締役副社長

3、TCSA ニュースの発行

平成30年度は、協会機関誌「TCSA NEWS」は下記の3号を発刊した。

	OPINION	特集	トップ インタビュー	TCSA レポート
94号 (7月27日 発行)	インハウス派遣事業者としての考察 (株)トップスタッフ 代表取締役社長 伊藤 浩 氏	「旅行業法・通訳案内士法改正」が添乗サービス業に与える影響について	国連世界観光機関 UNWTO 駐日事務所 代表 本保 芳明 氏	・JATA・TCSA共催 「改正派遣法対応セミナー」 ・TCSA事務局長あいさつ ・添乗あれこれ ・2000日添乗員のコツコツ奮闘記 ・国土交通大臣表彰
95号 (10月15日 発行)	添乗員と危機管理 (株)JTB 総合研究所 上席研究理事 観光 危機管理研究室長 高松 正人 氏	初めての「派遣期間制限」時期が到来	ANAセールス株式 会社 代表取締役社長 宮川 純一郎 氏	・「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2018」受賞者決定 ・添乗あれこれ ・2000日添乗員のコツコツ奮闘記 ・ユニバーサルツーリズムセミナーの開催
96号 (12月27日 発行)	観光先進国を見据えた2018年の制度改革 (一社)全国旅行業協会 専務理事 有野 一馬 氏	ベテラン添乗員が語る「より良い旅作り」	株式会社ジャルパック 代表取締役社長 江利川 宗光 氏	・添乗サービス業向け「労働関係法令セミナー」開催 ・ツアーコンカフェ ・派遣元責任者講習日程案内 ・添乗あれこれ ・2000日添乗員のコツコツ奮闘記 ・運輸局長表彰